

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(女性, 30歳代)あります。型別はO78(VT1)です。本年の累積報告数は18例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- パラチフスの報告が1例(男性, 20歳代)あります。推定感染地域は国外(カンボディア)で、推定感染経路は経口となっています。本年初めての報告となっています。
感染症法に基づく届出の対象となった平成11年(4月)以降、本市の累積報告数は本例を含め、16例となっています。推定感染地域はインド 5例をはじめ、東南アジア諸国 9例、国内 1例、不明 1例で、推定感染経路は経口が13例、不明が3例となっています。

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第30週(7月21日～7月27日)以降増加が続いていましたが、本週の定点当たり報告数は0.56(23例)となり、前週 0.98(40例)から減少しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 18例】
- 三類: パラチルス 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

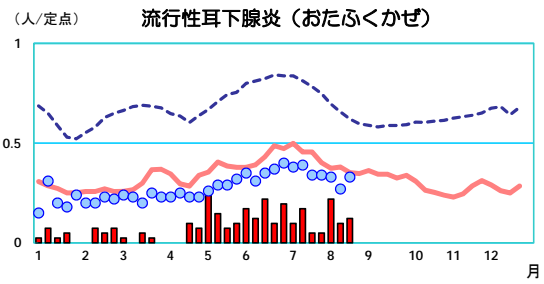
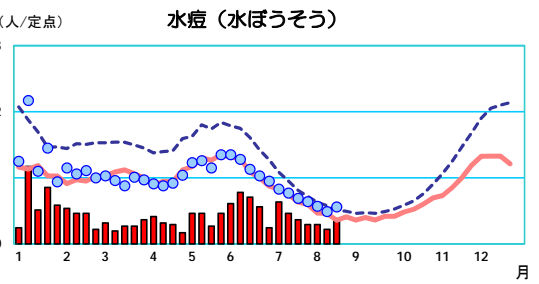
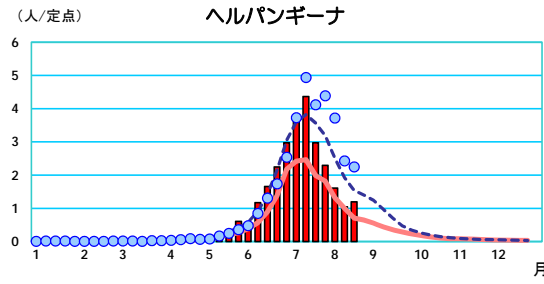
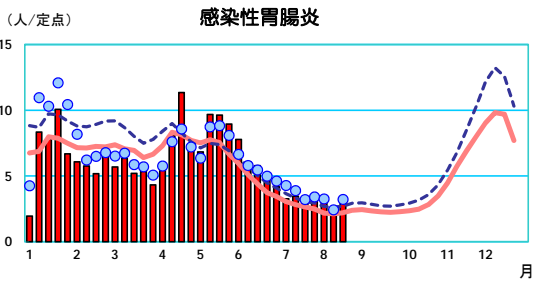
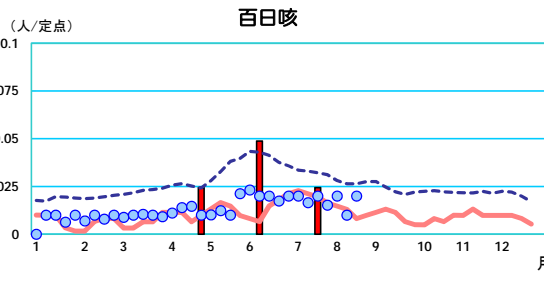
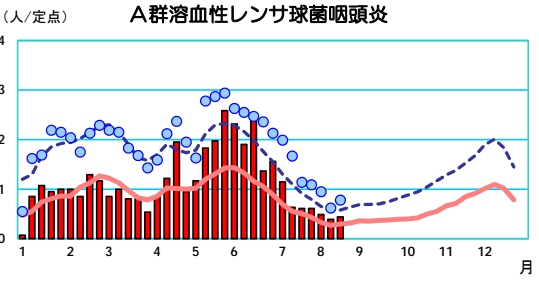
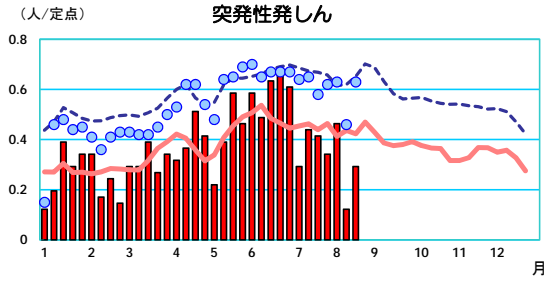
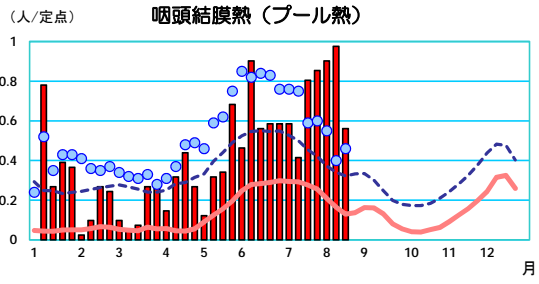
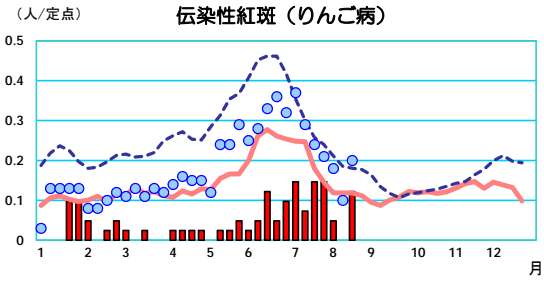
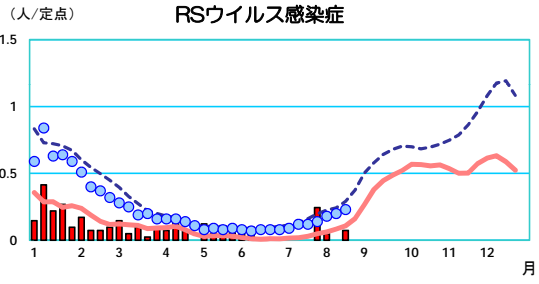
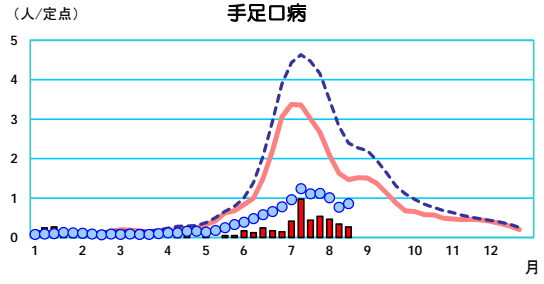
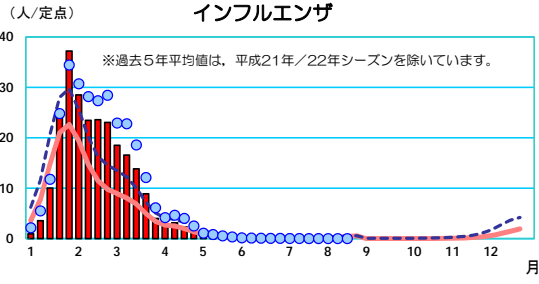
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.20	131
	② ヘルパンギーナ	1.20	49
	③ 咽頭結膜熱	0.56	23
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	18
	⑤ 水痘	0.34	14
眼科	流行性角結膜炎	1.90	19

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

(注) 京都市のデータは、平成26年8月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第34週(8月18日～8月24日)トピックス: <咽頭結膜熱>

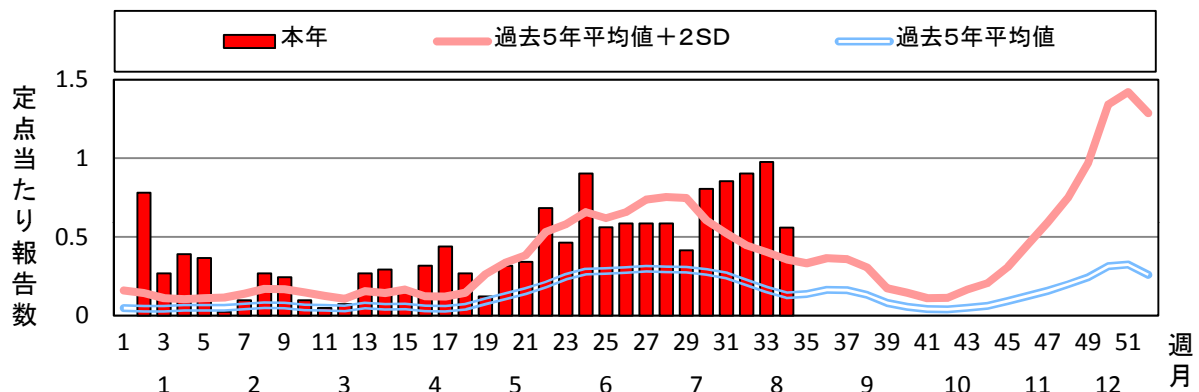
咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第30週(7月21日～7月27日)以降増加が続いていましたが、本週の定点当たり報告数は0.56(23例)となり、前週 0.98(40例)から減少しました。しかし、「過去5年平均値+2SD(*)」を上回っており、過去5年間の同時期と比較して最も多い報告数となっています。

咽頭結膜熱は、通常、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを形成しています。しかし、本疾患の原因であるアデノウイルス自体は、特に季節特異性はなく、年間を通じて分離されており、夏以外にも流行することがあります。アデノウイルスには51種類の血清型があり、主に1型～7型のアデノウイルスによって本疾患が発症しますが、3型による発症が多くみられます。特に7型は、心肺機能低下、免疫機能低下等の基礎疾患を有する人、乳幼児、高齢者では重篤な症状となることがあり、呼吸障害の進行や細菌による二次感染を併発することがあるため、感染への注意が必要です。

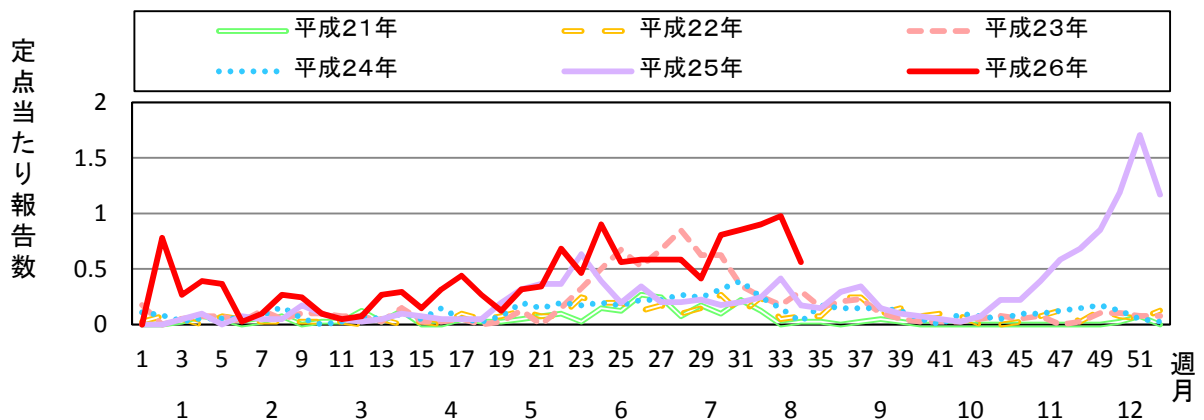
全国において、第1週からこれまでに咽頭結膜熱と診断された患者から分離・検出されたアデノウイルスは、3型が49例(34.8%)と最も多く、次いで2型 38例(27.0%)、1型 23例(16.3%)、4型 17例(12.1%)の順となっています。

アデノウイルスは、感染力が非常に強く、手指を介したり飛沫により感染するので、流水と石鹸による手洗いやうがいをを行うことが重要です。また、色々な消毒剤に対して比較的高い抵抗性を持つウイルスですので、器具に対しては煮沸、次亜塩素酸ソーダが有効とされています。

本市の定点当たり報告数の推移



本市の過去5年間との週別比較



全国の咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離・検出状況(平成26年8月28日現在)

アデノウイルス 3型	アデノウイルス 2型	アデノウイルス 1型	アデノウイルス 4型	アデノウイルス 5型	その他
49例	38例	23例	17例	6例	8例